

Wireless Portable Sound System



取扱説明書

800MHz帯デジタルワイヤレスポータブルサウンドシステム

JDL-910DU/D2

はじめに

このたびは、800MHz 帯デジタルワイヤレスポータブルサウンドシステム JDL-910DU/D2 をご購入いただき、誠にありがとうございます。

ご使用の際は本取扱説明書をお読みの上、正しく安全にお使いください。

ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

付属品や別売品は販売店でお求めいただけます。

目次

安全上のご注意（必ずお守りください）	1
お取扱いのご注意・メンテナンス	2
各部の名前と主な機能	3
操作パネル	4
800MHz 帯デジタルワイヤレスレシーバーの操作パネル DLR-9AF	5～7
Bluetooth の操作パネル	8
オーディオプレイヤー CD-800S の操作パネル	9・10
ハンド型デジタルワイヤレスマイクロホン DL-9H	11・12
タイピン型デジタルワイヤレスマイクロホン DL-9T	13～15
製品仕様	16・17
同梱品について	18
別売オプション	19
故障かな？と思ったら	20
保証書	21

安全上のご注意（必ずお守りください）



この表示は、してはいけない禁止行為です。



この表示は、実行しなければならない内容です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



本機を湿気や雨水が当たる場所に置かないでください。ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。



指定以外の電源は使用しないでください。故障・発熱・発火の原因になります。



電池交換の際は、交換する電池と元の電池が同じ仕様であることを確認してください。不適切な電池は爆発を招いたり正常に動作できなくなったりする可能性があります。



乾電池は充電しないでください。故障・発熱・発火の原因になります。



ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください。感電する危険性があります。



本機を分解、改造しないでください。発熱・発火・感電・けがの原因となります。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



外部から強い衝撃を与えたり落としたりしないようにしてください。故障の原因になります。



異常に温度が高くなる場所に置かないでください。温度が高くなりすぎて火災の原因になることがあります。



油煙や湯気の当たる場所、湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因になることがあります。



長期間使わない時は、マイクから電池を取り出してください。液漏れ・発熱を起こすことがあります。



音量を上げたまま電源を入れないでください。音が割れるような大きな音量で使用すると、故障の原因となります。ノイズや、音割れが発生する音量での使用はおやめください。

800MHz帯デジタルワイヤレスポータブルサウンドシステム JDL-910DU/D2 お取り扱いのご注意

初めてご使用になる前に、必ず充電してください。



本機JDL-910DU/D2は充電用電池を内蔵しています。本製品開封後初めてご使用になる前に、少なくとも8時間充電してください。

工場出荷前に充電してありますが、長距離の輸送や長時間の保管により電池は自然に放電し、電力不足を起こしている場合があります。

電池寿命をできるだけ長く保つため、必ずこれらの動作をおこなってください。

充電は定期的に行ってください。



本製品を長期間ご使用にならない場合は、保管する前にフル充電をおこなってください。なおかつ、毎月1回は充電し、電池の使用寿命を確保するとともに、最適な機能を維持するようにしてください。

長期間ご使用にならなかった後で再び使用する前に、フル充電をおこなってください。

電源をオフにしてから少なくとも8時間のフル充電を行うことをお勧めします。

電池寿命を延ばすため、本製品使用後も再度フル充電をおこなってください。

使用時に赤色の電源ランプが点滅した場合はすぐに電池を充電してください。



本機は電池自動遮断機能を有しています。電池使用時に電力が不足すると赤色の電源ランプが点滅し、電源は自動的に遮断され電池の過度な放電による損傷を防止します。

この現象が現れた場合は、すぐに電池を充電し、続けて使用しないでください。

本機は過負荷防止回路を搭載しており、電池の充電が終了すると自動的に充電を停止します。また電池充電中もスピーカーは正常にご使用いただけます。

ラベルについてのご注意

証明ラベルをむやみに剥がさないでください。



本機は、電波法で規定される技術基準適合証明品です。証明ラベルを剥がさないでください。

電池の廃棄・リサイクルについて



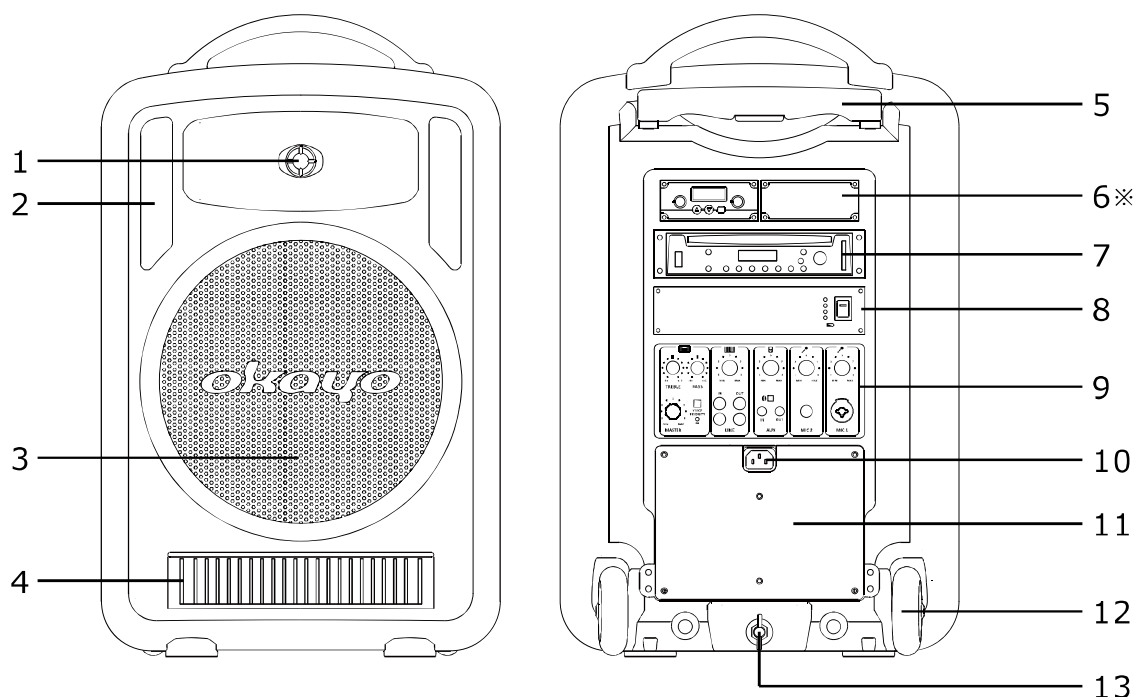
Pb



使用済みの電池の廃棄については、お住いの地域の廃棄規定に従ってください。電池はリサイクルすることが可能です。

電池の破壊、解体、焼却などの行為はやめてください。

各部の名前と主な機能



1. ツイーター
 2. スピーカーホール
 3. スピーカーグリル/フルレンジスピーカー
 4. 通風孔
 5. 伸縮式ハンドル
 6. 800MHz帯デジタルワイヤレスレシーバー
●DLR-9AF (800MHz帯 デジタルワイヤレス2波 レシーバーモジュール)
- ※ DLR-9AFワイヤレスレシーバーを増設すると、ワイヤレス4波まで使用できます。

7. オーディオプレイヤー
●CD-800S
8. 電源スイッチ、バッテリーメーター
9. マスターコントロールパネル
- 10.AC入力
- 11.電池カバー
- 12.キャスター
- 13.三脚穴

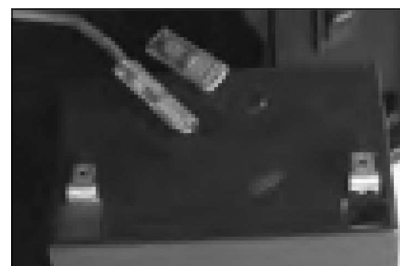
電池の交換 決して純正以外のバッテリーを使用しないでください。



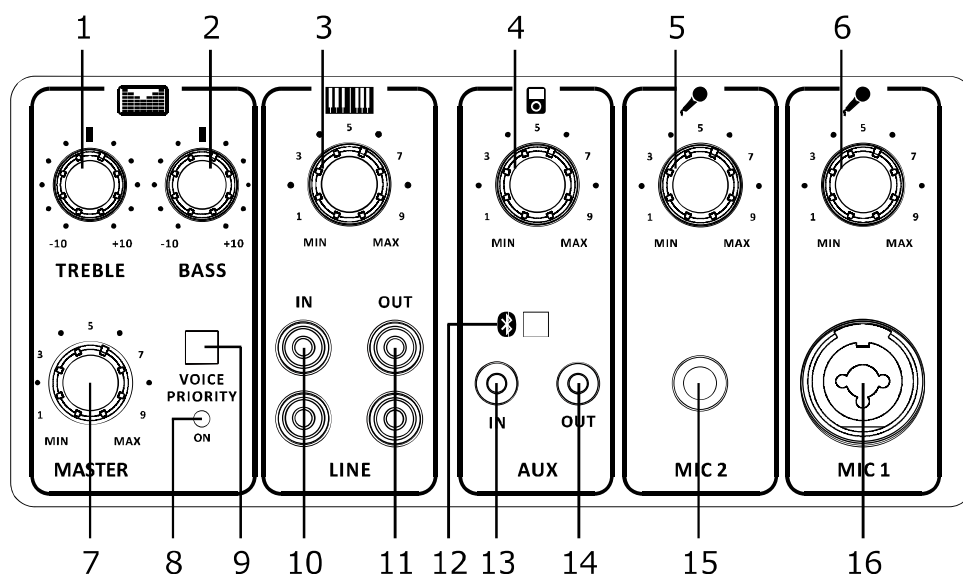
本体背面の電池カバーをプラス(+)
ドライバーを使って外します。



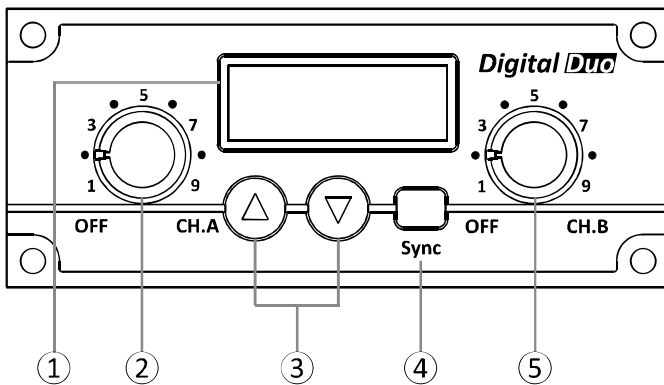
電池を取り出します。



赤を(+)、黒を(-)に正しく
接続してください。



- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. トレブル(高音) 2. バス(低音) 3. LINE 入力音量 4. AUX 入力音量 5. 有線マイク(MIC2) 音量 6. 有線マイク(MIC1) 音量 7. マスター(主音量) 8. トーク優先モード表示ランプ | <ul style="list-style-type: none"> 9. トーク優先モード入/切スイッチ
スイッチを入れると【8】の表示ランプが点灯します。ワイヤレスマイク、有線マイクの音声を優先的に出力し、同時に再生されているBGM等の音量が下がります。 10. LINE 入力 11. LINE 出力 12. Bluetooth ボタン 13. AUX 入力(Φ 3.5mm) 14. AUX 出力(Φ 3.5mm) 15. 有線マイク(MIC2) 入力(Φ6.3mm) 16. 有線マイク(MIC1)入力(Φ6.3mm)
フォンコネクター、XLR コネクター |
|---|--|



1. 液晶ウィンドウ(チャンネル、信号強度、トーク・ミュート状態、マイクのバッテリー残量表示)
2. Aチャンネルの電源スイッチと音量調節ダイヤル
3. チャンネル選択キー
4. シンク(同期)キー
5. Bチャンネルの電源スイッチと音量調節ダイヤル

デジタルデュオレシーバーモジュール DLR-9 の増設は本体に挿入してネジ留めするだけです。増設するとワイヤレス 4 波まで使用できます。

操作方法

ワイヤレスレシーバーの電源を入れる

1. (2)および(5)のダイヤルを、ボリューム 1 の位置まで回します。(2)が A チャンネル、(5)が B チャンネルのスイッチです。



ワイヤレスレシーバーの電源を切る

1. (2)および(5)のダイヤルを、ボリューム OFF の位置まで回します。(2)が A チャンネル、(5)が B チャンネルのスイッチです。

チャンネルを同期する

1. 最初にチャンネル A のダイヤルを回し電源を入れます。次に、必要に応じて同じ操作に従ってチャンネル B の電源を入れます。それぞれのダイヤルでチャンネルの音量を適切に調整してください。
2. 以前、選択したチャンネル番号が表示されます。チャンネルを変更するには、ボタン▲を 1 秒間押し続けます(バックライト画面が白になり、チャンネル A の番号が点滅するまで待ちます)。次に、ボタン▲または▼を押して、チャンネル A を別のチャンネル番号に変更します。新しく変更されたチャンネルは、2 秒間待機状態の後、自動で設定されます。次に、ボタン▼を 1 秒間押し続けると、チャンネル B の番号が点滅するので、チャンネル A と同じ操作を実行して、チャンネル B のチャンネルを変更します。
3. チャンネル A または B の特定の周波数を確認するには、ボタン▲(A)または▼(B)を短く押します。レシーバーモジュールは、2 秒間待機状態の後、自動でホーム画面に戻ります。

設定メニュー

1. デジタルデュオレシーバーの電源がオンのときに「SYNC」ボタンを押します。
2. チャンネル A に  が表示され、周囲の状況に応じて適切なチャンネルを自動で選択します(約 10 秒)。数字が表示された後に、マイクの電源を入れることでペアリングを行います(マイクと本体の距離が離れていると正常にペアリングしない場合がございます)。
- 3.1 本目のマイクがペアリングされると、チャンネル B に  が表示されます。チャンネル A と同じ方法で、チャンネル B もペアリングを行います。
- 4.2 つのマイクがペアリングを完了すると、レシーバーは自動的にホーム画面に戻ります。

カスタム設定

1. あらかじめ、ワイヤレスレシーバーモジュールの電源を入れた状態で▲ボタンと本体電源を同時に押します。
2. 画面に「QUALITY」と表示され、設定モードが開始されます。
3. ボタン▲または▼を押して、設定したい項目を選択し、SYNK ボタンを押します。
4. 内容変更後、もう一度 SYNK ボタンを押すと設定を終了します。
5. 設定モードを終了するには、メニューの「EXIT」を選択し、「SYNC」ボタンを押します。

●【QUALITY】受信機の音質。

Q(初期設定)：レギュラー

●【SQUELCH】レシーバーの信号品質。【SQUELCH】が良いほど、動作範囲は短くなります。

HI：操作範囲が短くなります。

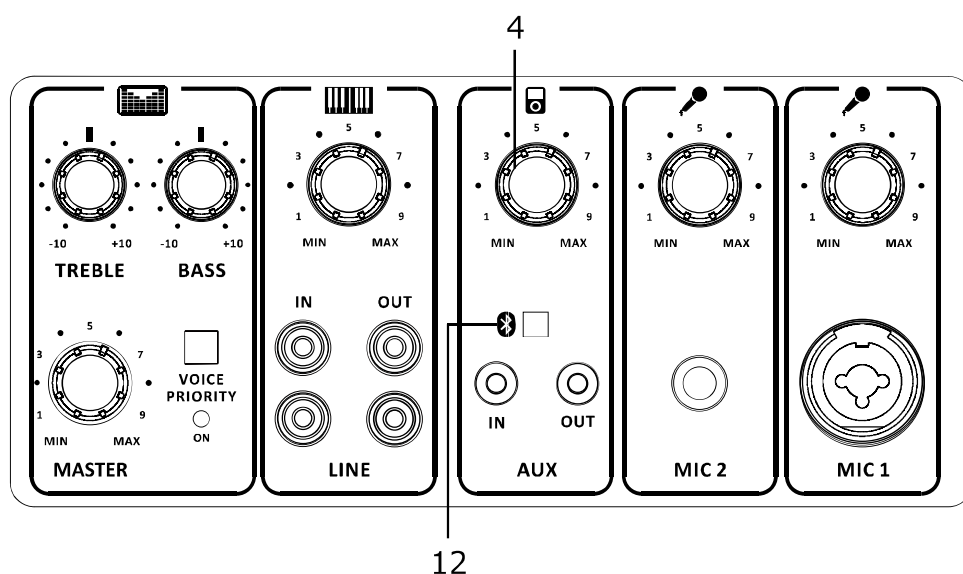
LO(初期設定)：操作範囲が広がります。

同じエリアで同時に 8 本のワイヤレスマイクを使用する場合

- 800MHz帯デジタルワイヤレスレシーバー DLR-9を4台使用すると、同時に8本のワイヤレスマイクが使用できます。
- 同時に8本のワイヤレスマイクを使用する場合のチャンネル設定は、08・09・10・11・12・13・14・15チャンネルを推奨します。

チャンネル表(受信周波数表)

チャンネル	周波数(MHz)	チャンネル	周波数(MHz)	チャンネル	周波数(MHz)
01	806.500	11	807.750	21	807.375
02	809.500	12	808.250	22	807.625
03	808.500	13	808.750	23	807.875
04	807.500	14	809.250	24	808.125
05	807.000	15	809.750	25	808.375
06	808.000	16	806.125	26	808.625
07	809.000	17	806.375	27	808.875
08	806.250	18	806.625	28	809.125
09	806.750	19	806.875	29	809.375
10	807.250	20	807.125	30	809.625

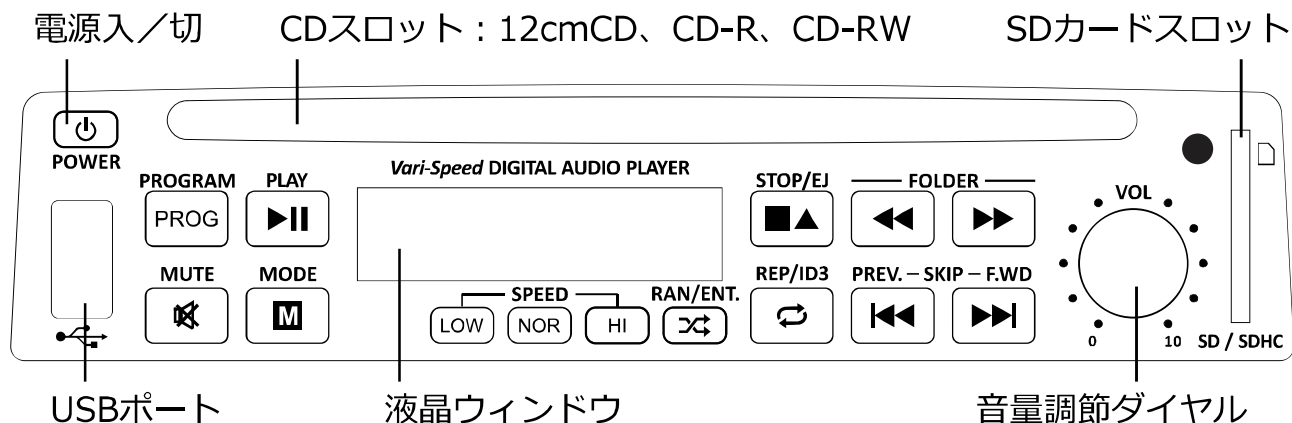


操作方法

1. Bluetooth ボタン(12)を約 2 秒間長押しし、Bluetooth の電源を入れます。切る場合も Bluetooth ボタン(12)を長押しします。
2. チャイムが鳴り電源ランプが青色に点灯します。Bluetooth 接続表示ランプが青色に点滅するとペアリングを実行しているサインです。
3. ペアリング・モード時にスマートフォンなどの接続したい端末の Bluetooth 接続を起動させます。「Portable PA」がペアリングリストに現れますので、それを選択します。
4. ペアリングが正常に完了すると、再びチャイムでお知らせします。ランプ表示は青色が常時点灯した状態になります。これでスマートフォン(端末)から Bluetooth 経由で音声を流す設定が完了しました。
5. 音量はスマートフォン(端末)側かボリュームダイヤル(4)で調節します。
6. 再生中に電話の着信があった場合、電話に出ると音声ストリーミングは中断します。通話が終了すると、Bluetooth モジュールは自動的に再接続し、再生が再開※されます。
7. Bluetooth の接続圏外に移動した場合、圏内に戻ってくるまで音声ストリーミングは中断されます。
8. Bluetooth のスイッチをオフにすると、再びチャイムでお知らせします。

※再生側の設定によります。

CD-800S



操作方法

再生/一時停止

停止 / CD ディスクの取り出し / 挿入

CD / USB メモリ / SD カード選択ボタン

ランダム再生 1回押すと、液晶ウィンドウに“RAN”が表示され、全トラックをランダムに再生します。もう一度押すと、ランダム再生が解除されます。

リピート再生

【CD 選択時】1回押すと、“REP1”が表示され、1トラックのみをリピート再生します。もう一度押すと、“ALL”が表示され、全トラックをリピート再生します。再度押すと、リピート再生設定が解除されます。

【USB / SD カード選択時】1回押すと、“REP1”が表示され、1トラックのみをリピート再生します。もう一度押すと、“REP1 F”が表示され、フォルダ内の全トラックをリピート再生します。再度押すと“ALL”が表示され、全トラックをリピート再生します。再度押すと、リピート再生設定が解除されます。

前のフォルダへ移動

次のフォルダへ移動

前のトラックへ移動 / 5秒長押しで早戻し

次のトラックへ移動 / 5秒長押しで早送り

消音(ミュート)

10トラックまで再生リストを記録できます。

【CD 選択時】

PROGRAM PROG を押し、PREV.- F.WD でトラックを選択、RAN/ENT. で記録します。あとはトラック選択 → RAN/ENT. の操作を繰り返します。PROGRAM PROG を再度押すとリストの設定を解除します。

オーディオプレイヤー CD-800Sの操作パネル

【USB / SD カード選択時】

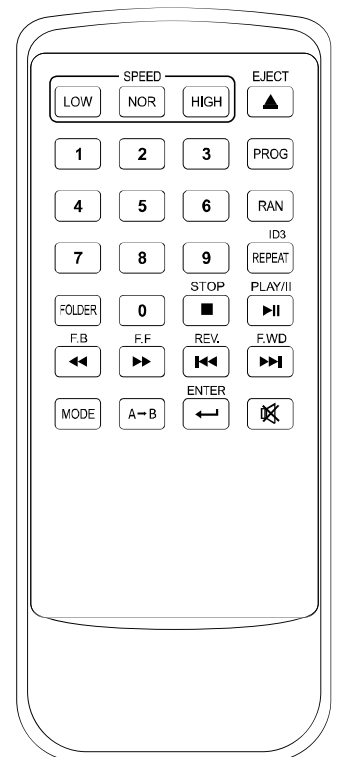
PROGRAM **PROG** を押し、**◀▶** でフォルダを選択、**◀▶** でトラックを選択、**RAN/ENT.** で記録します。あとはフォルダ選択→トラック選択→**RAN/ENT.** の操作を繰り返します。
PROGRAM **PROG** を再度押しとリストの設定を解除します。

REP/ID3 **↻** 3秒長押しで、トラック名、アーティスト名、アルバム名を表示します。
※ファイル名に情報が無い場合は表示されません。表示は半角英数字のみになります。

LOW トラックのスピードを遅くします。(10段階で設定可能)

HI トラックのスピードを速くします。(10段階で設定可能)

NOR 通常のスPEEDに戻します。



リモコンのボタン操作（その他の操作）

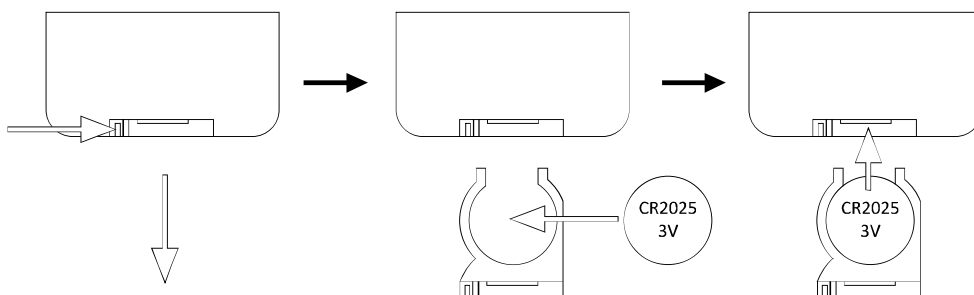
1 ~ 0 トラック番号選択ボタン

A-B A-B 区間リピートボタン

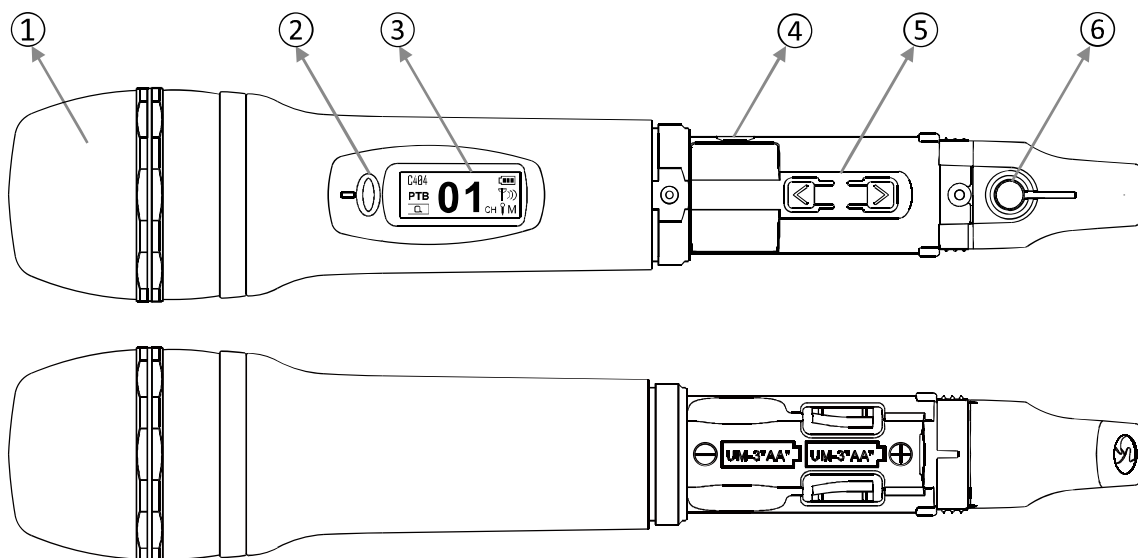
トラックの再生中に、リピートしたい箇所で **A-B** を押し、リピート開始点を設定します。再度 **A-B** を押し、リピート終了点を設定します。 **A-B** を押した区間のみリピート再生を続けます。再度押しとリピート設定が解除され、通常再生に戻ります。

リモコンの電池を交換する

1. 初めにリモコン裏側にある蓋のつめを右方向に押し、電池ホルダーを取り外します。
2. CR2025 3V ボタン電池を印字のある面を上にして電池ホルダーにセットし、リモコンの中に入れます。



ハンド型デジタルワイヤレスマイクロホン DL-9H



1. ダイナミックカプセル
2. トーク/ミュートボタン
3. 液晶ウィンドウ
4. 充電ポート(ニッケル水素充電式電池使用時)
5. チャンネル選択キー
6. 電源ボタン



操作方法

マイクの電源を入れる

電源ボタンを1秒間押し続けて、マイクをオンにします。

手動でチャンネルを調整する

チャンネル番号が点滅するまで、ボタン◀または▶を1秒間長押しします。

次に、ボタン◀または▶を押して、チャンネルを選択します。マイクが2秒間待機状態の後に自動的に決定されます。

チャンネル周波数を確認する

ボタン◀または▶を短く押して、選択したチャンネルの周波数を確認します。

マイクは2秒間待機状態になった後、ホーム画面に戻ります。

マイクの電源を切る

電源ボタンを2秒間押し続けて、マイクをオフにします。

マイク USB 接続

【充電】電源がオフの時に、マイク USB ケーブルを接続することで充電式電池を充電することができます(電源ボタンが赤色に点灯します)。

【電源】マイクがオンのときにマイク USB ケーブルを接続することで、電源ケーブルとしてご使用頂けます(画面に🔌が表示されます)。

設定モード

1. ◀と電源ボタンを同時に押して、マイクをオンにします。
2. 画面に「QUALITY」と表示され、設定モードが開始されます。
3. 設定したい項目を選択し、電源ボタンを押します。
4. 内容変更後、もう一度電源ボタンを押すと設定を終了します。
5. 「設定」モードを終了するには、メニューで「EXIT」を選択し、電源ボタンを押します。

マイクの音質(QUALITY)

Q(初期設定) : レギュラー

トークモード(TALK MODE)

PTB(初期設定) : (2)を押す度にモードが切り替わります。

PTT : (2)を押している時だけ話せます。

PTM : (2)を押している間はミュート状態になります。

電波強度(RF POWER)

))) HIGH(初期設定) : 高。操作範囲が広くなります。

) LOW : 低。操作範囲が短くなります。

マイクゲイン(MIC GAIN)

HIGH : 高

MID : 中間(初期設定)

LOW : 低

初期設定に戻す

1. ◀、▶、および電源ボタンを同時に押して、マイクをオンにします。
2. マイクは自動的に初期設定に戻ります。
3. 初期設定は以下になります。

チャンネル : 01

マイクの音質 : Q

トークモード : PTB

電波強度 : HIGH

マイクゲイン : MID

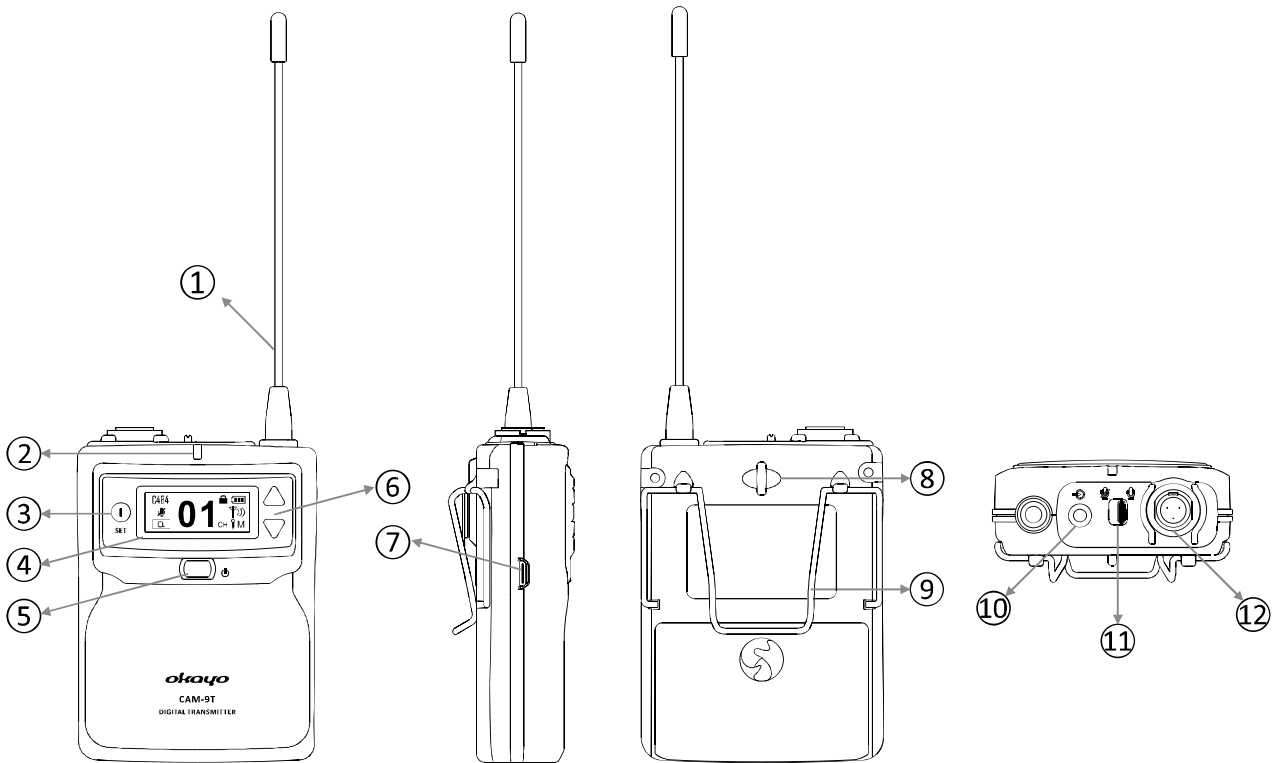


乾電池を充電しないでください。発熱、液漏れ、破裂の恐れがあり、たいへん危険です。

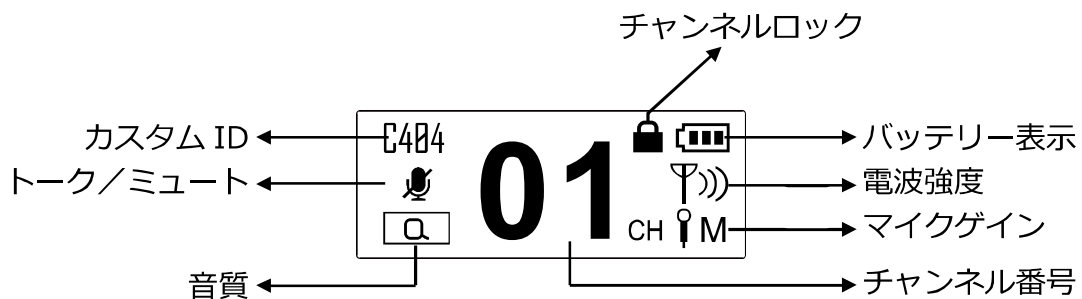


マイクを長期間使用しないときは、電池を取り出してください。

タイピン型デジタルワイヤレスマイクロホン DL-9T



- 1. アンテナ
- 2. トークLED表示
- 3. SET(設定)ボタン
- 4. 液晶ウィンドウ
- 5. 電源ボタン
- 6. 上/下 設定ボタン
- 7. 充電ポート(ニッケル水素充電式電池使用時)
- 8. ストラップホール
- 9. ベルトフック
- 10. AUX IN
- 11. トーク/ミュートスイッチ
- 12. ミニXLR ジャック



■ 操作方法

マイクの電源を入れる

電源ボタンを 1 秒間押し続けて、マイクをオンにします。

手動でチャンネルを調整する

SET ボタンを 1 秒間長押しします。

次に、ボタン▲または▼を押して、チャンネルを選択します。

変更したいチャンネルに合わせ、セットボタンを押して決定します。

チャンネル周波数を確認する

ボタン▲または▼を押して、選択したチャンネルの周波数を確認します。


2 秒間待機状態になった後、ホーム画面に戻ります。

マイクの電源を切る

電源ボタンを 2 秒間押し続けて、マイクをオフにします。

マイクロ USB 接続

【充電】電源がオフの時にマイクロ USB ケーブルを接続することで、充電式電池を充電することができます(トーク LED 表示部分が赤色に点灯します)。

【電源】マイクがオンのときにマイクロ USB ケーブルを接続することで、電源ケーブルとしてご使用頂けます(画面にが表示されます)。



乾電池を充電しないでください。発熱、液漏れ、破裂の恐れがあり、たいへん危険です。



マイクを長期間使用しないときは、電池を取り出してください。

■ 設定モード

1. SET ボタンと電源ボタンを同時に押して、マイクをオンにします。
2. 画面に「QUALITY」と表示され設定モードが開始されます。
3. 設定したい項目を選択し、SET ボタンを押します。
4. 内容変更後、もう一度 SET ボタンを押すと設定を終了します。
5. 「設定」モードを終了するには、メニューで「EXIT」を選択し、SET ボタンを押します。

マイクの音質(QUALITY)

Q(初期設定) : レギュラー

電波強度(RF POWER)

))) HIGH(初期設定) : 高。操作範囲が広くなります。

) LOW : 低。操作範囲が短くなります。

マイクゲイン(MIC GAIN)

HIGH : 高い

H-MID : やや高い(初期設定)

MID : 中間

M-LOW : やや低い

LOW : 低い

初期設定に戻す

1. ▲、▼、および電源ボタンを同時に押して、マイクをオンにします。
2. マイクは自動的に初期設定に戻ります。
3. 初期設定は以下になります。

チャンネル : 01

マイクの音質 : Q

電波強度 : HIGH

マイクゲイン : H-MID

ポータブル PA システム JDL-910DU/D2

定格出力	120W(最大 150W)
スピーカー	10 インチウーファー、1 インチツイーター
音声入力	Φ6.3mm マイク入力(コンボ端子)、Φ3.5mmAUX 入力、LINE 入力、マイク/ラインスイッチ
音声出力	Φ3.5mmAUX 出力、LINE 出力
受信機モジュール	800MHz 帯デジタルワイヤレスレシーバー DLR-9AF (2 波)
オーディオプレイヤー	CD-800S
電源	AC100 ~ 240V AC スイッチング電源 50 ~ 60Hz / DC32V,4.7A
電池	12V 4.5Ah×2 充電式鉛蓄電池
充電時間	約 5 時間
使用時間	約 4 ~ 6 時間
充電表示	FULL、80%、50%、20% の 4 段階
寸法	310x 360 x 579.1mm
質量	約 20kg(バッテリーを含む)

800MHz帯デジタルワイヤレスレシーバー DLR-9AF

周波数範囲	806.125MHz ~ 809.750MHz
チャンネル数	30 チャンネル
液晶ディスプレイ表示	チャンネル、電池残量、電波強度
使用温度範囲	-10° C ~ +50° C
周波数特性	70 Hz ~ 16 kHz
使用距離	50 ~ 70 メートル

ハンド型デジタルワイヤレスマイクロホン DL-9H

マイクユニット	ダイナミックマイク
アンテナ	内蔵
RF 出力	10~20mW
ボリューム制御	MUTE スイッチ
電池	単 3 形 1.2 V(ニッケル水素)充電式電池 2 本(1900mAh 推奨)、 または単 3 形 1.5 V 乾電池 2 本
連続使用時間	充電式電池約 8 時間/アルカリ乾電池約 14 時間
寸法	直径 48.6 x 長さ 258.1 (mm)
質量	270g(電池を含まない)

タイピン型デジタルワイヤレスマイクロホン DL-9T

マイクユニット	コンデンサーマイク
アンテナ	ウィップアンテナ
RF 出力	10~20mW
音声入力	ミニ XLR マイク入力、Audio 入力
ボリューム制御	MUTE スイッチ
電池	単 3 形 1.2 V(ニッケル水素)充電式電池 2 本(1900mAh 推奨)、 または単 3 形 1.5 V 乾電池 2 本
連続使用時間	充電式電池約 10 時間/アルカリ乾電池約 16 時間
寸法	奥行 30.4 x 幅 64 x 高さ 164.1 (mm)
質量	115 g(電池を含む)

この取扱説明書の内容は予告なく変更になる場合がございます。



スピーカー JDL-910DU/D2



スピーカー用電源コード



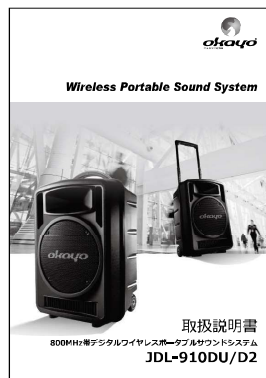
ハンド型デジタルワイヤレス
マイクロホン DL-9H
※ハンド型マイクのセットに付属



タイピン型デジタルワイヤレス
マイクロホン DL-9T
※タイピン型マイクのセットに付属



リモコン



取扱説明書(本書)



スピーカースタンド OJST-750



スピーカーカーバー（通常タイプ）
OJCB-800



スピーカーカーバー(防滴タイプ)
OJWPB-850



DL-9T 専用
タイピンマイク LM-95C



DL-9T 専用
デュアルフックマイク HM-55C



DL-9T 専用
インストラクター用マイク
HM-65C

故障かな？と思ったら

電源が入らない

マイク	●電池が正確にセットされているかを確認してください。
スピーカー	●電源コードが正しく接続されているかを確認してください。
共通	●電池の残量は十分あるかを確認してください。

音が出ない

スピーカー	●電源がオンになっているか、マスターボリューム調整ダイヤル、ワイヤレスレシーバーの音量調整ダイヤルが最小になっていないかを確認してください。
マイク	●ミュートモードになっていないか確認してください。
マイク	●マイク付近に大きな干渉源がないか確認してください。
共通	●マイクとスピーカーのデジタルワイヤレスレシーバーのチャンネルが同じかどうか確認してください。


音声が大きすぎる／小さすぎる

スピーカー	●ボリュームを調整して適切な音量にしてください。
-------	--------------------------

音量のフィードバックが大きい

スピーカー	●ワイヤレスレシーバーの音量と主音量を適切な大きさに調整してください。
-------	-------------------------------------

充電できない

スピーカー	●電源が正しく接続されているか、バッテリーが正しく取り付けられているかをご確認ください。
スピーカー	●それでも充電できない場合はバッテリーを交換してください。
マイク	 乾電池を充電しようとしていませんか？ 乾電池は充電に対応していませんので絶対にやめてください。

【製造】



OKAYO ELECTRONICS CO., LTD.

【販売】



okayo
Japan

Okayo Japan 株式会社

- 東京本社 〒101-0021 東京都千代田区外神田4-14-2 東京タイムズタワー501号
TEL:03-6261-3338 FAX:03-6261-3087
- 本店物流・テクニカル サポートセンター 〒852-8136 長崎県長崎市家野町5番19号
TEL:095-801-8100 FAX:095-801-8080
- 福岡オフィス 〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅南4丁目12-27 2F
TEL:092-710-4688 FAX:092-710-4689
- 台湾オフィス 104 台北市中山區南京東路2段101号10F
TEL:+886-2-2511-1606 FAX:+886-2-2511-0199